



教育関係者・事業者部門 消費・安全局長賞 《教育等関係者》

はんたがわ

那覇市繁多川公民館

(沖縄県) 活動期間 10年

復活した在来大豆の栽培と豆腐作りを通じた世代間交流による食育推進と地域づくり

あたいぐわープロジェクト

戦後途絶えていた在来大豆（「青（オー）ヒグ」・「高（タカ）アンダー」）栽培による島豆腐作りの復活を通じて、地域でのコミュニケーションと子供たちへの食育に取り組んでいます。栽培で使用する伝統農具、地域行事も復活させ、小中学校等の総合的な学習の時間に、種まきから豆腐作りまでの体験学習で食文化を伝えています。



カーヒラシー（区民による地域内の井戸の清掃）



若水汲み（正月元旦の未明に行われる地域内の井戸から汲んだ水（若水）で健康祈願を行う行事）

地域行事の復活

一粒の大豆から広がる輪

在来大豆をパン製造にも活用し、その収益は地域の子育て・親支援として、月に1度の子供の居場所事業「いどばたごはん会」の運営に充てています。また、地産地消の促進によるフードマイレージ「ストップ温暖化大作戦」でグランプリを受賞するなど、よりよいまち作りへと活動の幅が広がっています。



「繁多川すぐりむん」認定で高齢者の生きがいづくりも

公民館活動の「繁多川すぐりむん」に認定された高齢者の方に、食育の総合学習に参加してもらい、豊富な経験や知恵を語ることで、高齢者の生きがい作りにも繋がっています。こうした公民館活動を通じ、子供たちと地域の大人たちが触れ合う機会が増え、コミュニティの活性化が図られています。



シンメナービで豆腐づくり



クルマ棒の使い方の説明



公民館を拠点に、公民館・学校・地域が連携して、島豆腐づくりを中心とした食育活動を続けてきました。今回の受賞で、さらに意欲が増えています。今後も連携を密にし、実のある食育活動に邁進します。

あたいぐわープロジェクト
会長 久高 将一